アンケート構造図（2021年度）

全体調査

F1	性別
F2	年齢　※19歳以下、45歳以上は即時回答終了
F3	雇用形態　※アルバイト・パート 、求職中、その他は即時回答終了
F4_1	居住地
F4_2	勤務地
F5	勤務先の従業員数
SC1	対象とする製品・サービス<業種に相当>（111種）
SC2	職種（76種）
SC3_1	業務の専門学問分野系統(45種、2つまで)
SC3_2	業務の専門学問分野系統(SC3_1の回答から最も関わる1つを選択)
SC4	年収
SC5	最終学歴　※高校、専門学校、その他は即時回答終了
SC6_1	最終学歴の教育機関の所在地
SC6_2	高校・高等専門学校の所在地
SC7	最終学歴の学部・学科（45種）
SC8	最終学歴の研究室・ゼミでの専門学問分野(297種)
SC9	最終学歴の研究室・ゼミでの専門学問分野の有用性・学び方等
SC10	業務に関係が深い専門学問分野(297種、3つまで)
SC11	業務に最も関係が深い専門学問分野(SC10の回答から1つ選択)
SC12	業務に関係が深い専門学問分野を学んだ時期・場所(大学、企業等)
SC13_1	現在、学びたい専門学問分野(297種、2つまで)
SC13_1SQ	現在、最も学びたい専門学問分野(SC13_1の回答から1つ選択)
SC13_2	現在、学びたい専門学問分野を選択した理由(積極的か、受動的か等)
SC14	業務に対する認識（例：やりがい）等
SC15	業務に対する将来予測・DXによる影響・特徴・適性等
SC16_1	新たな展開・成長に向けて、重要な専門学問分野(297種、3つまで)
SC16_2	新たな展開・成長に向けて、最も重要な専門学問分野(SC16_1の回答から1つ選択)
SC17	転職経験・回数と仕事内容・待遇の変化
SC18	ITに関する知識・スキルを学ぶべき時期・現在の活用レベル

専門人材等の調査を回答する条件

◆情報関連の人材	◆電気系の人材	◆金融ファイナンス系の人材	◆機械系の人材
	SC1 11～20,41　かつ SC2 1～13		SC1　1～10　かつ SC2　1～13
14～21		33,34	
12,13		32	
32は除く	2,6		1
92,111～142,201,202,217,279	17～35,37～39,119,131,277,280	151	1～16,128,277,281

◆情報関連の人材
広義な「データ系を含むIT・システム系」人材として、「業務の専門学問分野系統」(SC3_1)に「情報系・IT系」または「数理・統計系、データ集計」が含まれることを中心に、「業務に最も関係が深い専門学問分野」(SC11)、「職種」(SC2)の回答で定めた。

◆電気系、金融ファイナンス系、機械系の人材
それぞれの専門性を業務に活かしている人材として、「業務の専門学問分野系統」(SC3_1,2)の回答を中心に、「業務に最も関係が深い専門学問分野」(SC11)、「職種」(SC2)、さらに適宜「対象とする製品・サービス<業種に相当>」(SC1)の回答で定めた。

ただし、以下は除く
・SC2　14～21
・SC3_2　1,2,6,12,13

AQ1_1	情報関連業務領域（19種）	1～18
AQ1_1SQ	詳細業務内容（記述式）	
AQ4	IT・パソコン・システム系の資格(20種)の取得時期、有効性	
AQ1_2	電気系業務領域(10種)	1～9
AQ1_2SQ	詳細業務内容（記述式）	
AQ1_3	金融ファイナンス系業務領域（26種）	1～18,21～22
AQ1_3SQ	詳細業務内容（記述式）	

AQ2_1	業務に重要な授業科目(85種、5つまで)
AQ2_2	業務に最も重要な授業科目(AQ2_1の回答から1つ選択)
AQ2_3	業務に重要な授業科目(135種、5つまで)
AQ2_4	業務に最も重要な授業科目(AQ2_3の回答から1つ選択)

AQ1 AQ2の回答者	AQ3　担当事業(30種)
SC9_8「そう思う」との回答者	AQ5　最終学歴の研究室・ゼミでの専門学問分野とSDGsの関係
SC14_8「そう思う」との回答者	AQ6　担当業務とSDGsの関係

専門人材等の調査